

令和 2 年度

水道事業会計決算の概要

水安全部

1 事業の概要（対前年度比）

項目等	年度	令和2年度 (A)	令和元年度 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
1 給水人口		140,952人	140,645人	307人	100.2%
2 給水量		16,861,000m ³	16,241,320m ³	619,680m ³	103.8%
3 有収水量		15,447,615m ³	15,048,390m ³	399,225m ³	102.7%
4 有収率		91.6%	92.7%	△1.1pt	98.8%
5 供給単価		119.46円	133.43円	△13.97円	89.5%
6 給水原価		136.90円	140.48円	△3.58円	97.5%
7 料金回収率		87.3%	95.0%	△7.7pt	91.9%

- ・給水人口：給水区域内に居住し、水道により給水を受けている人口
- ・給水量：給水区域に対して給水をした実績水量
- ・有収水量と有収率：給水量のうち、料金徴収の対象となった水量とその割合
- ・供給単価：有収水量1m³当たりの収益（売値）
- ・給水原価：有収水量1m³を給水するために必要な費用（原価）
- ・料金回収率：給水原価に対する供給単価の割合

2 決算の概要 収益的収支の概要①

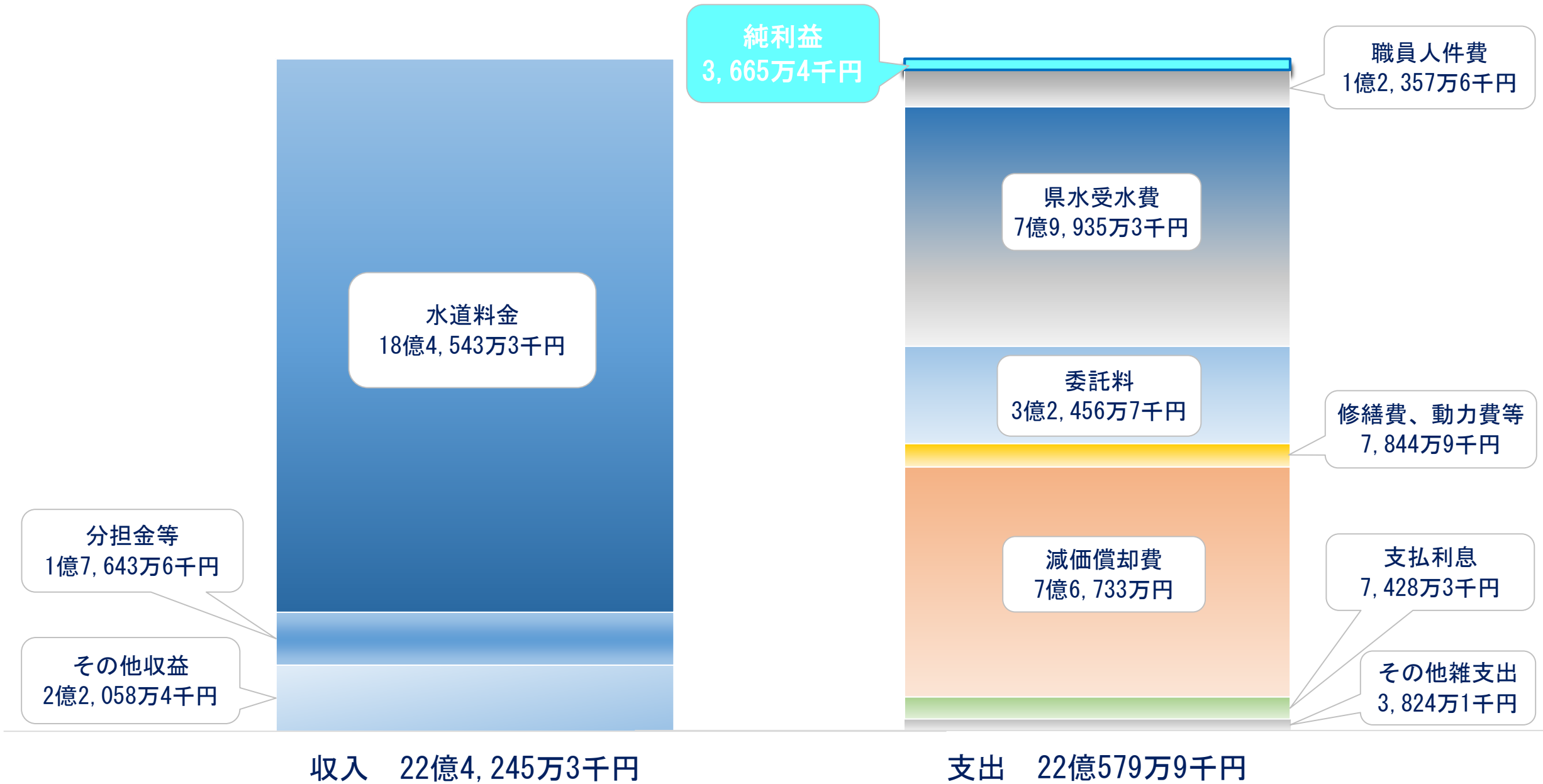
(消費税抜 単位：千円)

科目等		年度	令和2年度決算額 (A)	令和元年度決算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
収益的 収支	収益的収入(a)		2,242,453	2,423,951	△181,498	92.5%
	収 入	水道料金	1,845,433	2,007,955	△162,522	91.9%
		分担金等	176,436	191,860	△15,424	92.0%
		その他収益	220,584	224,136	△3,552	98.4%
	収益的支出(b)		2,205,799	2,204,797	1,002	100.0%
	支 出	職員人件費	123,576	114,295	9,281	108.1%
		県水受水費	799,353	799,707	△354	100.0%
		委託料	324,567	340,657	△16,090	95.3%
		修繕費・動力費・薬品費	78,449	71,128	7,321	110.3%
		減価償却費等	767,330	748,043	19,288	102.6%
支払利息		74,283	87,115	△12,833	85.3%	
	その他雑支出	38,241	43,852	△5,611	87.2%	
当年度純利益(c) = (a) - (b)		36,654	219,154	△182,500	16.7%	

○主な増減理由

- ・収入・・・水道基本料金4ヶ月分減免による減（181,700千円）及び業務用、工場等の使用水量の減
- ・支出・・・漏水調査業務委託料等の減、及び高利率で借入していた過去の借入分の償還が終了したことによる減

2 決算の概要 収益的収支の概要②



2 決算の概要 資本的収支の概要①

(消費税込 単位：千円)

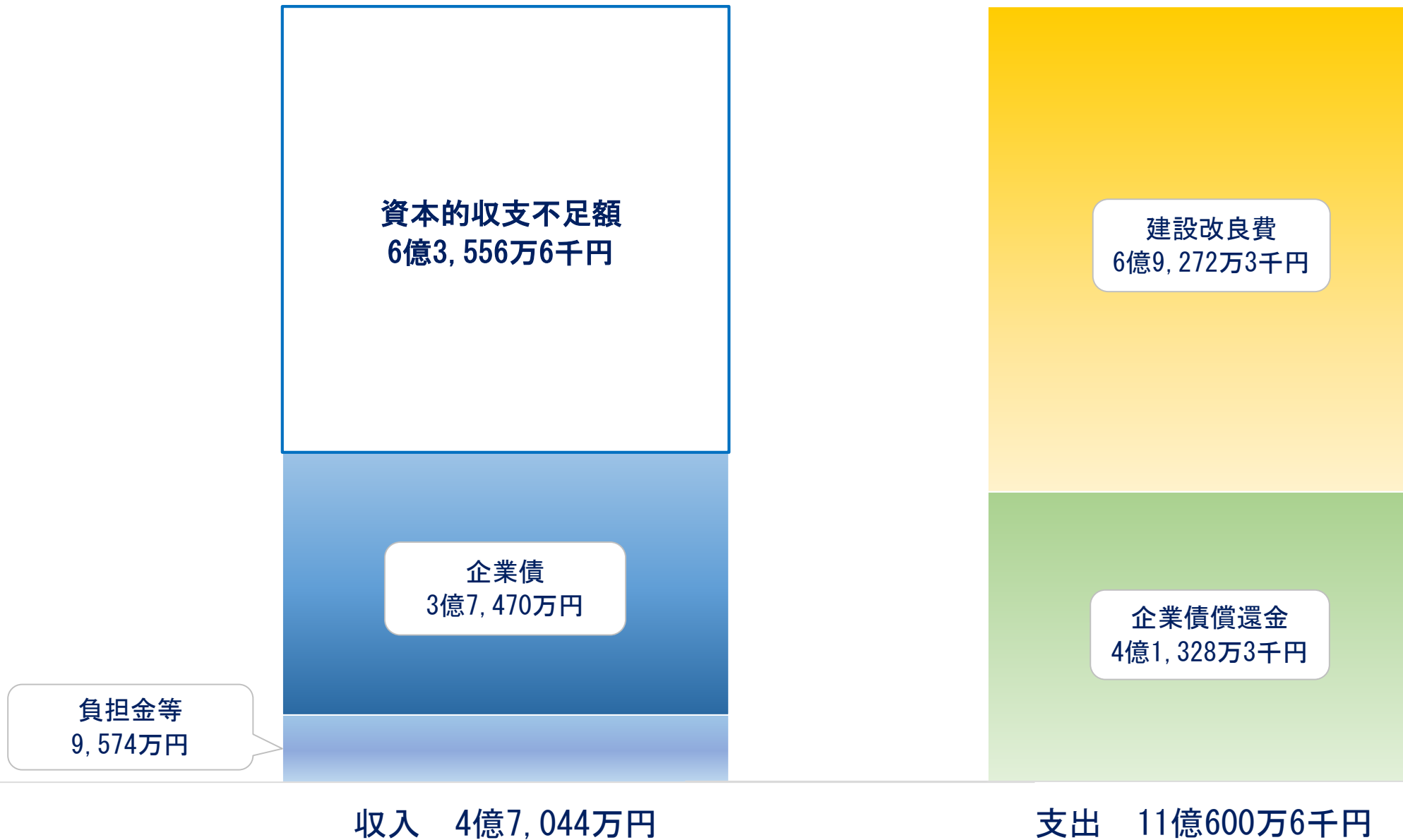
科目等		年度	令和2年度決算額 (A)	令和元年度決算額 (B)	対前年度増減額 (A) - (B)	対前年度比 (A) / (B)
資本的 収支	資本的収入(a)		470,440	285,512	184,928	164.8%
	収入	企業債	374,700	186,300	188,400	201.1%
		負担金等	95,740	99,212	△3,472	96.5%
	資本的支出(b)		1,106,006	1,060,782	45,224	104.3%
	支出	建設改良費	692,723	621,918	70,805	111.4%
		企業債償還金	413,283	438,864	△25,581	94.2%
	資本的収支不足額(c) = (a) - (b)		△635,566	△775,270	139,704	82.0%

※ 収入が支出に対して不足する額は損益勘定留保資金などで補填しました。

○主な増減理由

- ・ 収入・・・企業債借入額の増
- ・ 支出・・・配水管布設工事の増

2 決算の概要 資本的収支の概要②



3 工事の概要①

○水道管の新設

新曽第一及び新曽第二土地区画整理事業の進捗に伴い、道路整備が行われることにより道路線形が変更となることから、新たな宅地への水の安定供給と管路維持管理及び耐震化を考慮した配水管網とするため、必要となる配水管を布設しました。

- ・ 配水管布設工事 5工区、L=410.1m 34,453,100円

○水道管の更新及び耐震化

水道管の更新事業は、平成7年の阪神淡路大震災以降、水道本管である配水管の更新及び耐震化について継続的に実施しています。市では、市役所や病院、福祉施設、避難所などの重要施設に連絡する管路の耐震化を進めるとともに老朽配水管の更新も計画的に取り組み、配水管の更新を実施しました。

- ・ 配水管更新工事等 8工区、L=929.9m 292,088,500円

令和2年度末の耐震化率 全管路 52.1%

3 工事の概要②

○他事業からの依頼による工事

都市計画道路整備に伴う配水管の布設替え、下水道事業や新曽第一及び第二土地区画整理事業の進捗に伴い支障となる既設配水管について、配水管の切り回し並びに消火栓整備工事等を実施しました。

・都市計画道路整備（前谷馬場線）	1工区、L=372.3m	40,887,000円
・下水道事業	2工区、L=175.1m	43,265,200円
・土地区画整理事業（新曽第一）	1工区、L=114.0m	26,796,000円
・土地区画整理事業（新曽第二）	1工区、L=120.9m	11,825,000円
・消火栓整備等	8基	7,848,500円
	合計	130,621,700円

○東部浄水場1号配水ポンプVVVF盤等更新及びオーバーホール工事

平成9年度に設置した東部浄水場の1号配水ポンプについて、設置から20年以上が経過していることから、当該ポンプに係る設備の機能維持、安定稼働を目的として、電気盤及び受変電付帯設備の更新並びにポンプ本体、電動機等のオーバーホール工事を実施しました。

・配水ポンプ本体及び電動機オーバーホール等	1式	93,500,000円
-----------------------	----	-------------